

ヒトメタニューモウイルス

ヒトメタニューモウイルスとは？

2001年にオランダで発見された新しいウイルスで、インフルエンザウイルスやRSウイルスに次いで多いといわれています。

症状

感染すると、発熱や咳、鼻水といった風邪の症状を起こします。ひどくなると、「ゼイゼイ」「ヒューヒュー」といった呼吸音が聞かれることがあり、気管支炎や肺炎を起こす事もあります。

感染経路と流行時期

感染力はとても強く、飛沫感染、接触感染によって感染します。流行時期は3～6月とされており、生後数ヶ月から5歳くらいまでかかることが多いです。

ヒトメタニューモウイルスに感染しても多くは一週間程度で症状は治まります。しかし、一回の感染では十分な免疫が獲得できないため、繰り返し感染することがあるといわれています。年齢が上がるにつれて徐々に免疫がつき、症状は軽くなる傾向があるようです。

治療と予防

特別な治療方法はなく、各症状を楽にするための対症療法を行います。水分をしっかりととり、温かくして、ゆっくりと休みましょう。また、普段から手洗いやうがいをしっかり行い、流行している時期や、家族に患者がいる場合にはマスクをする事も効果的です。

ヒトメタニューモウイルスってなあに？ 監修：進藤静生先生 より参照
医療法人KLC ファミリーランドクリニック南大高